

## ネット de アンケート

### ●牛肉の購買状況についてきく

### 牛肉離れの要因はやはり「価格」 「50円下がれば買う」に現状反映



うし年の昨年は「牛肉が売れない」といわれ続けた一年であった。かつて売り上げも利益も取れる牛肉は精肉売り場の花形であったが、<sup>ちやうど</sup>凋落は甚だしく、いまやその座を豚肉に取って変わられたという売り場も少なくないのではないか。この“牛肉離れ”ともいえる状況打破するにはどうすれば良いのか。消費者は牛肉についてどのようにみて、そして考えているのだろうか。牛肉の販売回復には何が必要なのだろうか。そこで今回のネットでアンケートは牛肉の購買状況についてアンケート調査行ってみた。

有効回答件数1,263件。男女比は女性が53.9%、男性が46.1%。年代別の比率では30代が一番高く32.1%。次いで40代(25.9%)、20代(17.7%)の順。地方別では関東37.5%、近畿19.1%、東海12.5%となり、都道府県別では東京が26.6%でトップ。神奈川21.9%、大阪16.2%、兵庫13.5%、愛知13.3%が都道府県別比率のベスト5となった。

### Q1 家庭で牛肉を使った料理をつくるときに、一番参考にされる情報は？

#### ネットと料理本、テレビが上位

インターネットでアンケート行うという特性か、情報の収集も「インターネット」という回答割合が一番高く32.6%と3割以上の支持を集めた。次が「料理本」の27.4%。「テレビの料理番組」が19.8%で続いている。このトップ3の数値を合わせると79.8%となり8割近い人がこの3つの媒体から牛肉料理の情報を得ていることになる。

では男女別にこの質問をみてみよう。

男性の1位はやはり「インターネット」であったが28.7%と全体の平均値よりも低くなっている。2位は「料理本」の27.7%、3位の「テレビの料理番組」が全体の平均値よりも若干高い22.1%で続いている。女性の1位も「インターネット」だが、こちらは男性よりも比率は高く35.9%となり、全体の平均値よりも3%以上高くなった。2位は「料理本」(27.1%)、3位は「テレビの料理番組」(18.0%)となっている。

さらに詳しく女性の年代別(20代~50代)にこの質問をみてみよう。

20代では「インターネット」の回答割合がさらに高まり、45.2%

と半数近くにまで伸びている。逆に「テレビの料理番組」が減り、11.9%と全体の平均値よりも8%ほど低い。30代は、20代よりも低くはなっているがそれでも「インターネット」の回答割合は39.9%と4割に迫る数値となった。ちなみに「テレビの料理番組」は13.0%と全体の平均値よりも低くなっている。

40代になると「インターネット」の回答割合はぐっと下がり、30.8%と全体の平均値よりも下がってしまっている。それに反比例して上がっているのが、「テレビの料理番組」で、22.4%となり、20代の女性と比べると10%以上の開きが出ている。

これが50代になるとさらに顕著になり、「テレビの料理番組」の回答割合が31.3%と「インターネット」のそれ(25.0%)を抜いてトップになっている。

そんな中でも年代別にあってもそれほど差が出ないのが「料理



本」である。(20代25.2%、30代28.1%、40代27.6%、50代22.5%)

### Q1 家庭で牛肉を使った料理をつくるときに、一番参考にされる情報は？

テレビの料理番組.....	19.8%
雑誌.....	8.8%
新聞.....	1.0%
料理本.....	27.4%
インターネット.....	32.6%
ゲームソフト.....	0.1%
携帯電話のサイト.....	0.2%
フリーペーパー.....	0.6%
売場の店頭に置いているチラシ.....	2.7%
友人からの情報.....	2.0%
その他.....	4.8%

## Q2 焼き肉用の牛肉を買う場合、目安となる100gあたりの金額は

### 200～300円台に集中する

焼き肉が“ごちそう”であったのは遠い昔のこと。この質問にもその感覚は反映されているのだろうか。回答割合で1番高かったのは「300円」で27.5%で、次いで「200円」の22.2%、「500円」が17.3%となった。「200円」と「300円」の回答を合わせると5割以上の人が焼き肉ではこの価格帯を支持していることになる。

では、都道府県別にこの質問をみてみよう。

東京の1位は「300円」で25.5%。2位は「200円」で24.8%となり1位と2位の差は全体の平均値のそれと比較した場合、縮まっている。神奈川の1位も「300円」の26.1%であったが、2位の「200円」は19.3%でその差は広がっている。3位には「400円」が16.8%が入った。

大阪の1位は、やはり「300円」であったが、32.6%と3割を超える支持を集めた。2位になったのが「500円」で21.3%となり、全体の平均値よりも4%ほど高くなっている。兵庫の1

位も28.8%で「300円」であったが、大阪よりも「500円」割合が23.3%と高くなっている。

愛知の1位は「200円」で31.9%となり全体の平均値よりも10%近く高くなっている。福岡も「200円」の割合が1番高く、33.3%となり、その半面「300

円」の回答割合は13.9%と全体の平均値よりも10%以上も低くなっている。地方別にみても東海地方は「200円」の支持が高く、31.5%となっている。

### Q2 焼き肉用の牛肉を買う場合、目安となる100gあたりの金額は

100円	5.7%
200円	22.2%
300円	27.5%
400円	12.9%
500円	17.3%
600円	4.6%
700円	2.4%
800円	2.9%
900円	0.7%
1,000円以上	1.9%
1,500円以上	0.4%
2,000円以上	0.1%
その他	1.6%

## Q3 すき焼き用の牛肉を買う場合、目安となる100gあたりの金額は

### 300円台と500円台に高い支持

焼き肉よりも“ハレの日”の需要が期待されるすき焼きだが、このアンケートをみる限りでは、それほど“ごちそう感”は出ていないようだ。焼き肉と同じく「300円」が24.7%の支持を集め1番高

くなった。次いで「500円」の19.3%、「200円」の14.3%が続いている。焼き肉と比較をした場合、「600円」以上の金額の支持割合が焼き肉は12.9%だったのに対してすき焼きは24.0%と倍近くの数値とな

った。この「600円」以上の数字だけをみると少しは“ごちそう感”があるようだ。

都道府県別にこの質問をみてみよう。

東京の1位は「300円」で22.5%の支持を集めた。2位には「500円」が19.7%が入った。3位は僅

差の18.3%で「200円」が。大阪で1位となったのが「500円」(25.8%)で全体の平均値よりも6%以上高くなっている。しかし隣県の兵庫の1位は「300円」の30.6%で、「500円」は19.4%となり大阪とは10%以上の差が出ている。福岡の1位は焼き肉と同じ、25.0%で「200円」が入った。

地方別にみてみよう。関東は1位「300円」24.4%、2位「500円」19.5%、3位「200円」16.1%という順になった。近畿の1位も「300円」(24.7%)であったが、大阪の影響か2位の「500円」は23.8%となった。3位は「400円」(10.1%)が入ったが、全体の平均値と比較した場合、低くなっ

ている。関東と近畿の600円以上の回答割合を比較した場合、関東は23.2%、近畿は29.1%となり、近畿の方が6%ほど高くなっている。北海道の1位は「300円」で32.6%と全体の平均値よりも高く、3割以上の支持を集めた。九州の1位は「200円」で23.1%とこちらも全体の平均値よりも高い支持割合となっている。

### Q3 すき焼き用の牛肉を買う場合、目安となる100gあたりの金額は

100円	4.3%
200円	14.3%
300円	24.7%
400円	11.6%
500円	19.3%
600円	6.6%
700円	4.9%
800円	6.5%
900円	1.0%
1,000円以上	4.6%
1,500円以上	0.4%
2,000円以上	0.1%
その他	1.7%

## Q4 しゃぶしゃぶ用の牛肉を買う場合、目安となる100gあたりの金額は

### 東京では200円台と500円台

では、しゃぶしゃぶ用はどうか。1位は、焼き肉、すき焼きと同様で「300円」となったがその支

持割合は22.1%と1番低い。2位には「500円」が19.1%で入り、3位は14.8%で「200円」がランクイ

ンした。600円以上の支持割合をみると23.9%とすき焼きとほぼ同じ割合となった。さらに焼き肉、すき焼き、しゃぶしゃぶの共通点として、特徴的なのが「400円」の回答割合。支持割合の高い「300円」と「500円」に挟まれ、ガクンと下がったような感がある。その落ち込みにあまり緩やかさは感じられない。もし、廃棄ロスや値引きロスなどを減らすのなら、この400円という価格帯の商品の構成を見直すのも一つの手段なのかもしれない。

では、都道府県別にこの質問を



みてみよう。

東京の1位は同率(20.4%)で「200円」と「500円」。大阪の1位も同率(22.7%)で「300円」と「500円」が並ぶ結果に。愛知と北海道に関しては「300円」が頭一つ抜けて1位となった(愛知29.6%、北海道31.1%)。福岡は焼き

肉、すき焼きと同様に「200円」が30.6%と1位に。アンケートをみると限りでは福岡の牛肉は200円という価格が強いようだ。



**Q4** しゃぶしゃぶ用の牛肉を買う場合、目安となる100gあたりの金額は

100円	5.6%
200円	14.8%
300円	22.1%
400円	12.5%
500円	19.1%
600円	6.1%
700円	5.3%
800円	5.4%
900円	1.2%
1,000円以上	4.8%
1,500円以上	0.8%
2,000円以上	0.3%
その他	2.1%

## Q5 以前と比べて、家庭で牛肉を買う量が

### 買う量は減少傾向に

牛肉の購買について消費者はどう感じているのだろうか。アンケートみる限りでは「変わらない」が43.4%と半数近い支持を集めたが、「かなり減った」と「減った」と合わせて考えてみると、48.4%となり、「変わらない」を上回ることに。こちらも5割近い人が牛肉を買う量は減ったと感じていることになる。それに比べて「増えた」と「かなり増えた」の回答を合わせた割合は8.2%となり、減ったの回答の合算値との差は6倍近くにまでなっている。

やはりこのアンケートをみる限

りでも牛肉を買う量を控えているという人が多いようだ。では、「かなり減った」「減った」という部分に注目して、都道府県別にこの質問をみてみよう。東京の「かなり減った」の割合は11.0%、「減った」の回答は40.4%となり合算すると51.4%と半数以上の方が牛肉を買う量が少なくなったと思っている。神奈川の場合はさらにその数値が大きく、「かなり減

った」13.6%、「減った」43.2%となった。大阪は「かなり減った」が15.6%で、「減った」は40.0%となりやはり合算すると50%を超えている。しかし、兵庫は「かなり減った」8.1%、「減った」32.4%となり、合算値は4割を少し超えたくらいで、東京、神奈川、大阪と比較し

**Q5** 以前と比べて、家庭で牛肉を買う量が

かなり減った	12.5%
減った	35.9%
変わらない	43.4%
増えた	7.1%
かなり増えた	1.1%

た場合、牛肉を買う量が減ったと感じている人の割合は少し緩くなっているようだ。逆に東京、神

奈川、大阪と比べてきつくなっているのが、福岡で、「かなり減った」が17.1%、「減った」にいたつ

ては51.4%と半数以上の支持を集める結果になった。

## Q6 これから先、家庭で牛肉を買う量は

### ことしも減少に歯止めが掛からない？

では、ことしの牛肉を買う量はどうか。「変わらない」が66.6%で1番、多くの支持を集めた。しかし、次にきたのが「減る」の21.0%で「かなり減る」の4.1%を合わせると25.1%となり4分の1の人がまだこれからも牛肉を買う量は減るのではないかと感じている。

Q5の質問と同じく、都道府県別にこの質問をみてみよう。

東京の「かなり減る」は4.9%、「減る」は20.4%となり全体の平均値とほぼ同じくらいの数値となった。大阪は若干、東京よりも高くなっており、「かなり減る」で5.6%、「減る」で26.7%となり合算すると3割上の人が牛肉を買う

量を減らそうと考えている。この減らす傾向が緩くなっているのが愛知県で、「かなり減る」が5.6%、「減る」が7.0%となり、合算すると12.7%で全体の平均値のほぼ半分という数値。

逆に高いのがやはり福岡で、「かなり減る」という回答は2.8%と低いのだが、「減る」という回答が44.4%と高くなっている。先の質問と合わせて考えると、このアンケートみる限りでは福岡は牛肉の消費には積極的ではないようだ。地方別に「かなり減る」「減る」の

合算値を紹介してみよう。北海道21.7%、東北18.3%、関東26.0%、甲信越22.2%、北陸27.3%、東海17.8%、近畿27.2%、中国21.3%、四国30.3%、九州37.8%。逆に「増えた」と「かなり増える」の合算値は北海道10.9%、東北5.4%、関東8.1%、甲信越8.3%、北陸13.6%、東海5.5%、近畿10.5%、中国8.5%、四国12.1%、九州7.8%となっている。

**Q6** これから先、家庭で牛肉を買う量は

かなり減る	4.1%
減る	21.0%
変わらない	66.6%
増える	7.1%
かなり増える	1.1%

## Q7 あなたが「牛肉を買わない」「あるいは買いづらい」と思う1番の理由は

### 敬遠の理由は「高すぎる」

1位は圧倒的に「価格が高い」で60.3%と2位に5倍近い差を付けてのトップとなった。いくら安くなくなったとはいえ、精肉売り場という同じ土俵で勝負する場合、売価の安い豚肉や鶏肉に分があるの

は否めない。だからこそ牛肉でしか出せない、価格以上のものを感じられる付加価値が付けられれば良いのだが、なかなかそれもできないというのが現状であろう。女性の年代別にこの質問をみて



みよう。どの年代でも「価格が高い」が1位となったが、その支持率には少し差が出ている。20代は63.8%、30代は58.2%、40代は66.4%、50代は52.6%となり、女性全体では59.9%と若干ではあるが全体の平均値を下回る結果となった。

女性の年代別で2位にきた回答をみると20代は「見た目、脂身が多くてカロリーが高そうだから」という回答は少し異質ではあるが、20代ならではの回答なのかもしれない。

「安心・安全に不安がある」(13.2%)、50代も「安心・安全に不安がある」(17.9%)という結果になった。この中で20代の「見た目、脂身が多くてカロリーが高そうだから」という回答は少し異質ではあるが、20代ならではの回答なのかもしれない。

**Q7** あなたが「牛肉を買わない」「あるいは買いづらい」と思う1番の理由は

価格が高い	60.3%
安心・安全に不安がある	12.4%
おいしくない	1.9%
料理用途が少ない	3.7%
見た目、脂身が多くてカロリーが高そうだから	5.0%
健康志向にそぐわない	3.1%
家族があまり好きじゃない	3.0%
高齢者が多い	2.1%
1パックの量が多すぎる	1.6%
1パックの量が少なすぎる	2.9%
その他	3.9%

## Q8 こうなれば、もっと牛肉を買うのになあと考えるのは(複数回答可)

### 「価格」と「おいしさ」が重要に

では、牛肉はどうすれば買われようになるのか。やはり当然だが、価格が安くなれば買うという人が多く、価格が下がれば買うという人の合算は60%以上となった。それ以外の回答では「おいしい牛肉があれば買う」という回答の割合が高く29.3%と3割近い人の支持を集めた。また「生産者の顔がはっきり分かる牛肉であれば買う」(17.3%)や「赤身が多く、カロリーが低そうな牛肉であれば買う」(15.7%)も支持を得ており、ここらあたりをうまく活用すれば牛肉の販促につながっていくのかもしれない。

では、都道府県別にこの質問を

では「おいしい牛肉があれば買う」はどうか。東京は27.7%、神奈川は26.2%、大阪25.6%、兵庫37.3%、愛知25.7%、北海道40.4%、福岡33.3%となった。北海道

**Q8** こうなれば、もっと牛肉を買うのになあと考えるのは(複数回答可)

価格が、いまより50円下がれば買う(100gあたり)	54.9%
価格が、いまより30円下がれば買う(100gあたり)	10.1%
価格が、いまより10円下がれば買う(100gあたり)	1.4%
料理用途が増えれば買う	10.2%
おいしい牛肉があれば買う	29.3%
1パックあたりの量が増えれば買う	11.7%
1パックあたりの量が少なくなれば買う	3.6%
赤身が多く、カロリーが低そうな牛肉であれば買う	15.7%
生産者の顔がはっきりわかる牛肉であれば買う	17.3%
高齢者向けの牛肉があれば買う	5.5%
その他	3.7%

の40.4%という数字が頭一つ飛び抜けて大きくなっているのが目を引く。

もう一つ、「生産者の顔がはっきりわかる牛肉であれば買う」の回答をみると東京12.8%、神奈川18.9%、大阪17.8%、兵庫13.3%、愛知14.9%、北海道14.9%、福岡8.3%という数字になった。福岡が10%を切る以外はすべて10

%以上の支持を集めている。地方別にみると東北25.8%、関東16.5%、甲信越30.6%、北陸13.0%、東海16.6%、近畿17.7%、四国14.7%、九州15.4%となり、北陸の13%が最下限の支持率だが、それでの1割以上の人の支持を集める結果となった。

また、東京のように「赤身が多く、カロリーが低そうな牛肉であ

れば買う」(支持率15.5%)の回答割合が「生産者の顔がはっきりわかる牛肉であれば買う」のそれを上回る都道府県もあるので、それを紹介してみたい。兵庫16.0%、愛知16.2%、北海道17.0%、福岡19.4%。地方でも四国が26.5%と高い支持を集めている。

## Q9 家庭で牛肉の焼き肉を行う場合、大人1人分の量の目安となるのは

### 1人あたりは200～300g

「200g」の回答割合が1番高く44.9%と半数近い数字となった。次が「300g」の27.2%、「100g」が14.1%で続いている。もう少し「300g」に回答が集まるのでは予想されたが、結果は20%近い開きが出てしまった。1人前「200g」というのは少し少なすぎる感がある。焼き肉というと食肉がメインとなり、“がつつり”食べる

というイメージがあるが、アンケートみる限りではそうでもないらしい。では都道府県別にこの質問をみてみよう。「200g」の回答割合をピックアップしてみると、

東京47.9%、神奈川47.9%、大阪40.7%、兵庫36.1%、愛知46.5%、北海道32.6%、福岡34.3%となっ

**Q9** 家庭で牛肉の焼き肉を行う場合、大人1人分の量の目安となるのは

100g	14.1%
200g	44.9%
300g	27.2%
400g	6.1%
500g以上	6.1%
その他	1.6%

た。40%を切っているのは兵庫、北海道、福岡となり、後述するが北海道は「300g」の回答が1位となっている。地方別にみても「300g」が1位となっているのは北陸の50.0%だけである。

では、「300g」はどうか。東京27.1%、神奈川23.1%、大阪31.9%、兵庫36.1%、愛知29.6%、北海道39.1%、福岡28.6%となった。北

海道は「200g」を抑えて1位となっており、兵庫に関しても同率で1位となった。大阪に関しても1

位と2位の差は東京、神奈川のそれと比較した場合、大きくはない。



## Q10 家庭で牛肉のすき焼きを行う場合、大人1人分の量の目安となるのは

### 1人200gが圧倒的に多い

焼き肉と比較した場合、「100g」「200g」「300g」への回答の集中度合が高くなっているようだ。1位の「200g」はさらに過半数に近づき、「100g」も焼き肉よりも支持を集めており、「300g」は支持を減らしている。やはりすき焼きは食肉以

外にも野菜などを一緒に食べるということから肉の量も減ってくるのだろうか。



都道府県別にこの質問をみてみよう。

「200g」の都道府県別の割合は

Q10 家庭で牛肉のすき焼きを行う場合、大人1人分の量の目安となるのは	
100g	19.3%
200g	49.7%
300g	22.3%
400g	3.8%
500g以上	3.5%
その他	1.5%

東京50.3%、神奈川50.9%、大阪46.2%、兵庫49.3%、愛知52.1%、北海道39.1%、福岡51.4%となった。軒並み50%をクリアあるいは近くまで支持を集めているが、北海道だけは39.1%と4割を割っている。地方別では四国が64.7%と

高くなっており、それ以外にも東(50.2%)、東海(53.1%)、九州(50.6%)の3つが5割を超える結果となった。

「300g」は東京25.2%、神奈川19.8%、大阪27.5%、兵庫26.8%、愛知19.7%、北海道37.0%、福岡

20.0%となり、ここでも北海道は唯一3割をこえ4割に迫ろうかという高い支持割合を得ている。ちなみに地方別にみても3割を超える支持を集めた地方はない。北海道を除いて1番高い割合となったのは近畿の27.2%。

## Q11 家庭で牛肉のしゃぶしゃぶを行う場合、大人1人分の量の目安となるのは

### すき焼きと同じく200gが中心

すき焼きと比較すると1位となった「200g」の割合は46.2%と若干ではあるが低くなっている。また「100g」(14.5%)も低くなっており、その分「300g」(27.3%)と「400g」の支持割合が少し高くなっている。やはりしゃぶしゃぶも牛肉をメインで食するということなのだろうか。

都道府県別にこの質問をみてみよう。

「200g」の都道府県別の支持割合は東京45.1%、神奈川45.5%、

大阪36.7%、兵庫43.1%、愛知54.3%、北海道35.6%、福岡37.1%となった。ここにきて4割を切った県が大阪、北海道、福岡と3県になり、中でも北海道と大阪は「200g」が1番ではなく2番目に高い支持割合となっている。

「300g」はどうか。東京31.3%、神奈川29.5%、大

阪37.8%、兵庫31.9%、愛知27.1%、北海道37.8%、福岡28.6%となり、「300g」は、どの県もすき焼きよりも高い支持を得ることとなった。やはりすき焼きに比べて牛肉メインという意識が強いようだ。

Q11 家庭で牛肉のしゃぶしゃぶを行う場合、大人1人分の量の目安となるのは	
100g	14.5%
200g	46.2%
300g	27.3%
400g	6.7%
500g以上	3.6%
その他	1.7%